



チーム大蔵

～あいさつ えがお げんき～

北九州市立大蔵小学校

〒 805-0043

北九州市八幡東区

勝山一丁目 1-1

TEL (093) 651-0076

《文責》

大蔵小学校 校長 高宮 滋

大蔵小学校だより

NO. 10

令和2年10月16日(金)

前期終了 本校教育活動へのご理解・ご協力に感謝致します

4月、放送による始業式、そして入学事務手続き（式行えず）でスタートした令和2年度。先行き不透明なまま臨時休校が続きました。withコロナの中で再開された教育活動は、多くの「制限」とともに高い「緊張感」のある中でのスタートでした。社会的距離の確保、マスクの着用、手洗い、消毒。誰もが経験したことのない学校生活ではありましたが、一步、一步綱渡りをするように慎重に歩を進めながら今日の日を迎えました。保護者の皆さまには、これまで何かとご心配をおかけしてきましたが、本校教育活動へのご理解、ご協力を賜りましたことに感謝いたします。



通知表「あゆみ」の見方について



「あゆみ」は、一人一人のよさや可能性を伸ばし、確かな学力をつけていくため観点別の評価を重視するとともに、成長や努力を認め励ます視点で、学校生活や学習の様子等を連絡しています。

本年度、新しい『学習指導要領』が全面実施されるのに伴い、学習評価の在り方が見直されるようになったことは、8月4日に配布したプリント「新学習指導要領全面実施に伴う『学習評価及びあゆみ』の改訂について」にてお知らせしている通りです。これに伴い、本日配付した「あゆみ」も改訂されていますので、くわしい見方や活用の仕方についてお知らせいたします。本年度は個人懇談会が学期末に行われないため、「あゆみ」の内容等でお尋ねがあれば、担任等にお問い合わせください。

前期の生活の様子

10の項目について、他の子どもとの比較ではなくその子自身の中で特に「よい」ところとして認められる内容に○を付けています。その項目は、今期中で、よさとして顕著であった内容です。今後、より一層伸ばしていけるよう励ましてください。

各評価項目及び趣旨の内容は、別紙にてお知らせします。

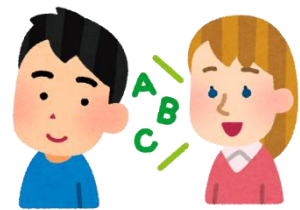
前期の連絡

昨年度までの「あゆみ」では「生活や特別活動の連絡」「学習の連絡」に分かれていた連絡欄が、本年度から一つになっています。ですから、学級での話し合い活動や係・当番活動、クラブ活動や代表委員会（4～6年）、委員会活動（5, 6年）、学校行事での様子や、給食時間や清掃時間、休み時間等の様子、友達とのかかわりなどについてお知らせするとともに、各教科（5, 6年は外国語科も含む）や道徳について、よくがんばったことやさらに努力してほしいことを記述しています。総合的な学習の時間（3～6年）や外国語活動（3, 4年）についても、この欄で記述します。内容が学校生活全般にわたるので、その学期で特によくがんばったことや努力してほしいことなどを精選し端的に記述しています。連絡欄に記述されている課題については、次の学期のめあてにし、改善していけるようにご家庭でも話し合ってくださいと思います。



前期の各教科における観点別の学習の様子

昨年度まで4観点あった評価の観点が、今年度から3観点になっています。各教科の内容の定着の様子が分かるよう、観点別に評価を行っており、これも他の子どもとの比較ではなく、各教科の学習ごとに設けられている評価の観点に照らして、その子の学習状況を評価するものです。



各教科とも観点毎に、今期おおむね達成できていれば「よい」です。達成できていなければ「がんばろう」です。したがって、「よい」をめざして学習に励むことが大切であり、「がんばろう」の内容は次の学期に達成を目指してほしいと思います。

「たいへんよい」ってどのくらい良いの？



「たいへんよい」は、目標を達成したか判断する規準を大きく超えているものです。わかりやすく例えるなら、「走り高跳び（陸上運動）で1メートルを跳べることを規準とすると、どんな跳び方でもいいから1メートル跳べたら「よい」です。バーにふれてもギリギリでも構いません。しかし、その中で、1メートルをはるかに超える高さをきれいなフォームでスムーズに跳べた場合など、特別に優れた内容が非常に多く認められれば、それが「たいへんよい」となります。ですから、「たいへんよい」はごく僅か（少ない）とお考えください。

前期の出欠の記録

学期ごとに集計した出欠状況をお知らせしています。後期には、1年間の合計もお知らせします。本年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、発熱などの風邪症状が出た際には、無理せず登校を控えるようお願いしています。そこで、朝の電話連絡などでそうした申し出があった際には、欠席ではなく「出席停止」としています。また、分散登校を行ったため「登校対象日」以外の日は、欠席ではなく「出席停止」という扱いになります。「出席停止」の日数分、「出席しなければならぬ日数」が減ることになります。インフルエンザや流行性耳下腺炎（いわゆる「おたふくかぜ」）などといった伝染病に感染した場合も、登校することが一定の期間認められないので、欠席ではなく出席停止の欄に日数が記入されます。忌引も同様です。



「身体の記録・からだのきろく」

例年なら年度初めに測定した身長・体重・視力を、1学期のあゆみでお知らせすることになります。しかし、本年度は「もともと2学期のあゆみを前期のあゆみに置き換えて使用している」ため、記載箇所がありません。そこで、8～9月に実施した発育測定の結果を、別紙「のびゆくすがた」としてあゆみとともにお渡しします。

若竹学級のあゆみについて

これまでお知らせした内容とほぼ同じ「あゆみ」をお渡しします。「前期の自立活動の連絡」の欄に活動の様子や成長したことなどを記述します。なお、交流学級で活動することも多いため、それぞれの子どもとの交流学級の担任とも連絡を取り合って評価をしています。



1年生のあゆみについて

例年通り3学期制ならば、1年生の1学期の「あゆみ」だけ、2段階評価です。学校生活に適應している項目を「よい」、努力してほしい項目が「がんばろう」となります。しかし、本年度は前・後期（2期）制なので、初めから他の学年と同様の「あゆみ」をお渡しします。